

MaaS取り組みと 関連データについて

- 日常に欠かせないツールとして多くのユーザーが利用
- インバウンドや在日外国人向け「乗換案内」として、13言語に対応した「Japan Transit Planner」も展開

<https://world.jordan.co.jp/mln/en/>

乗換案内

スマートフォンアプリ/スマートフォンサイト
PCサイト/PCパッケージ/ケータイサイト

月間の総利用者数：約**1,400万人/月**

月間の総経路検索回数：約**2.1億回/月**



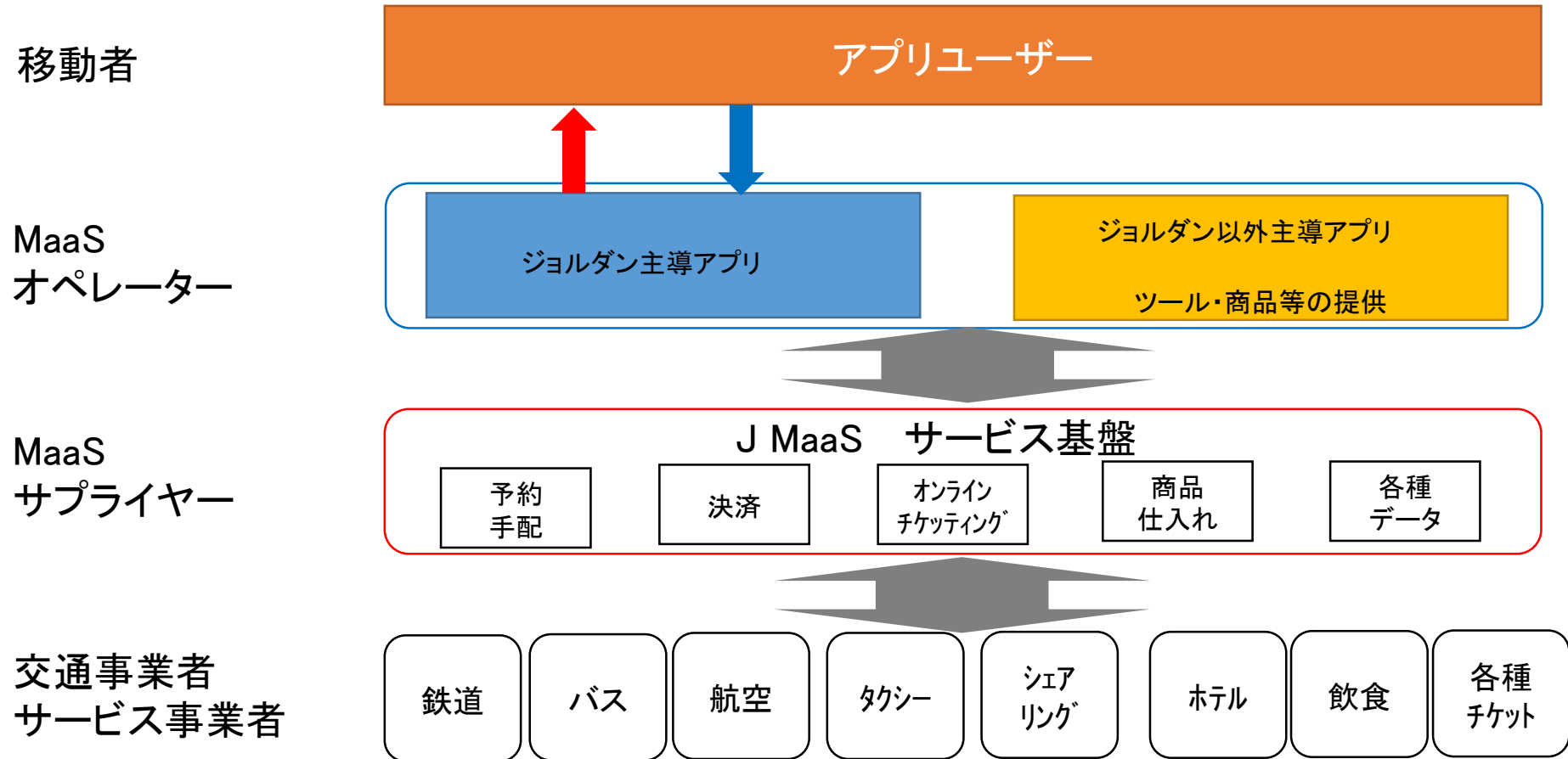
The screenshot displays the Japan Transit Planner interface with a route search for Shinjuku to Shin-Osaka. The results show eight routes with varying travel times and fares. Route 1 is highlighted as the fastest option at 2 hours and 59 minutes for 14,650 yen. The detailed view for Route 1 shows the following itinerary:

Route	From	To	Time	Fare	Notes
Route 1	Shinjuku	Shin-Osaka	2 hr 59 min	14,650 yen	Easy/Fast
13:21	Shinjuku	Shinjuku	Platform 7		
13:41	Shinjuku	Shinagawa	20min		Yamanote Line Toward Shibuya
Transfer	Shinagawa	Shinagawa	Transfer 10 min / Wait 3 min		
13:54	Shinagawa	Shinagawa			Reserved Seat / 5,900 yen (For Shin-Osaka)
16:20	Shin-Osaka	Shin-Osaka	Platform 2		Nozomi No.361 (Series N700) (For Shin-Osaka)

J MaaSが目指す事業領域

『乗換案内』で培った実績を踏まえ、2018年7月にJ MaaS株式会社を設立し、ユーザー接点を持つ乗換案内も含む、MaaSオペレーター事業を推進しようとする企業に対してソリューションを提供しうるサービス基盤を提供するべく準備をするめています。

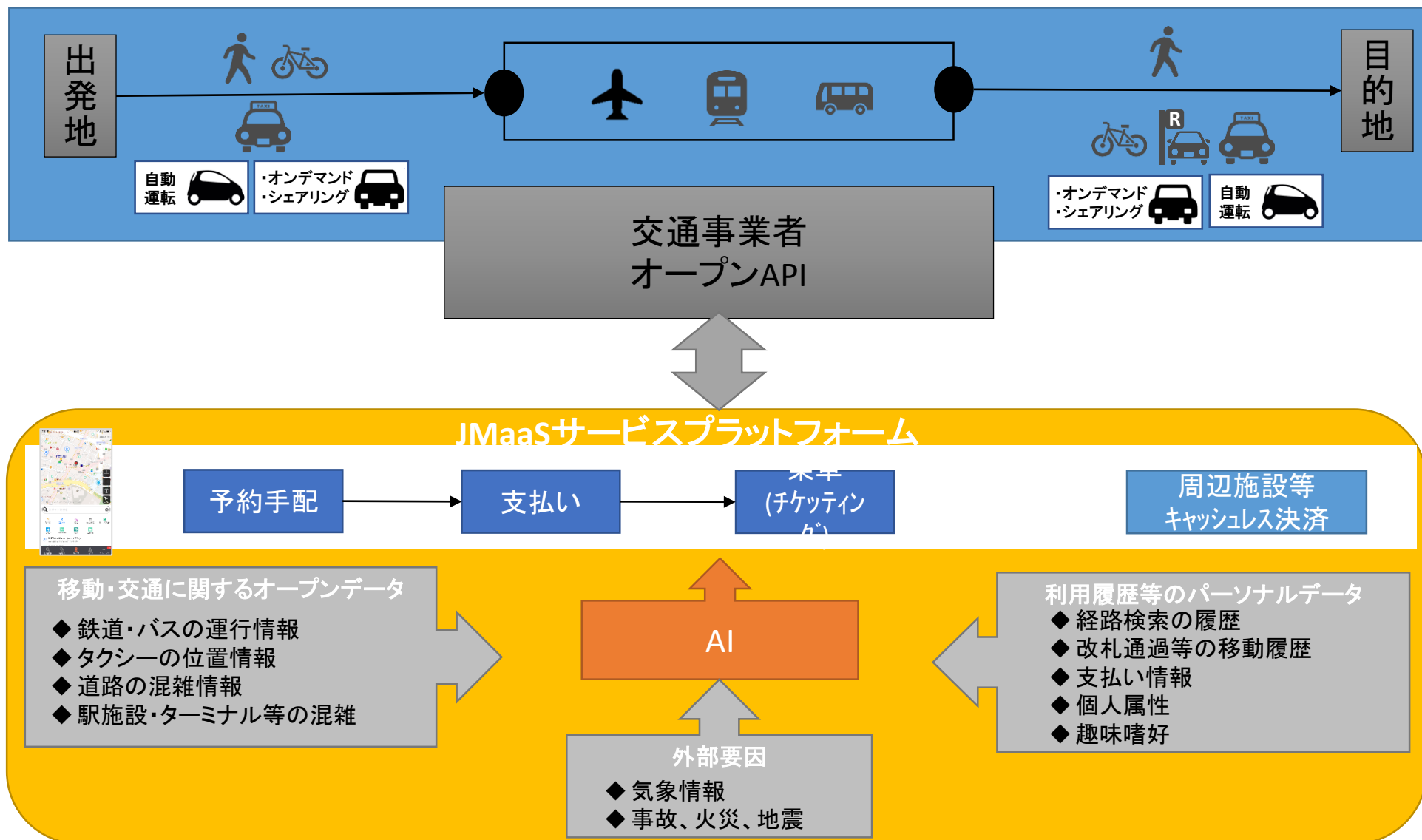
「*MaaSサプライヤー」に特化し、 Jordán 以外とも取引
・MaaSオペレーターの求めるものを全て提供する(代わりに開拓)



*交通事業者、ホテル予約業者、飲食予約業者、決済事業者等との代行・連携(MaaSオペレーターへのバックエンド業務)

J MaaSが目指すプラットフォームイメージ

JMaaSプラットフォームは、『乗換案内』で培ったノウハウを最大限活用して、人の移動をスマホ1つで、シームレスに、そして、快適にするUXを提供します。



MaaSを実現するために必要な公共交通のデータ

利用者がスマホアプリを利用して、様々な移動手段を組み合わせをして、シームレスに移動をできる経路を提示し、それをその経路を一括で予約、決済、乗車までを実現。

乗換案内における経路検索



鉄道:時刻表、運賃
バス:路線・系統、時刻表、
バス停(位置情報)、運賃
徒歩:地図、POI

タクシー:全国のタクシー事業者(電話番号)

レンタサイクル、レンタカーなど
様々な交通サービスの組合せ

リアルタイム情報を付加することで、
より便利に、安心して利用することができる。

※バスロケデータ

予約・決済・乗車

乗換案内の経路検索において、バスの移動も不可欠と考え、全国のバスデータを独自に収集

2002年よりバスデータの収集・作成への取り組みを開始。
多言語、バス停位置座標、バス路線図なども対応。

系統数

28,331系統

路線バス : 24,812系統
コミュニティバス : 3,519系統

対応会社数

797社・自治体

路線バス : 374社
コミュニティバス : 423自治体

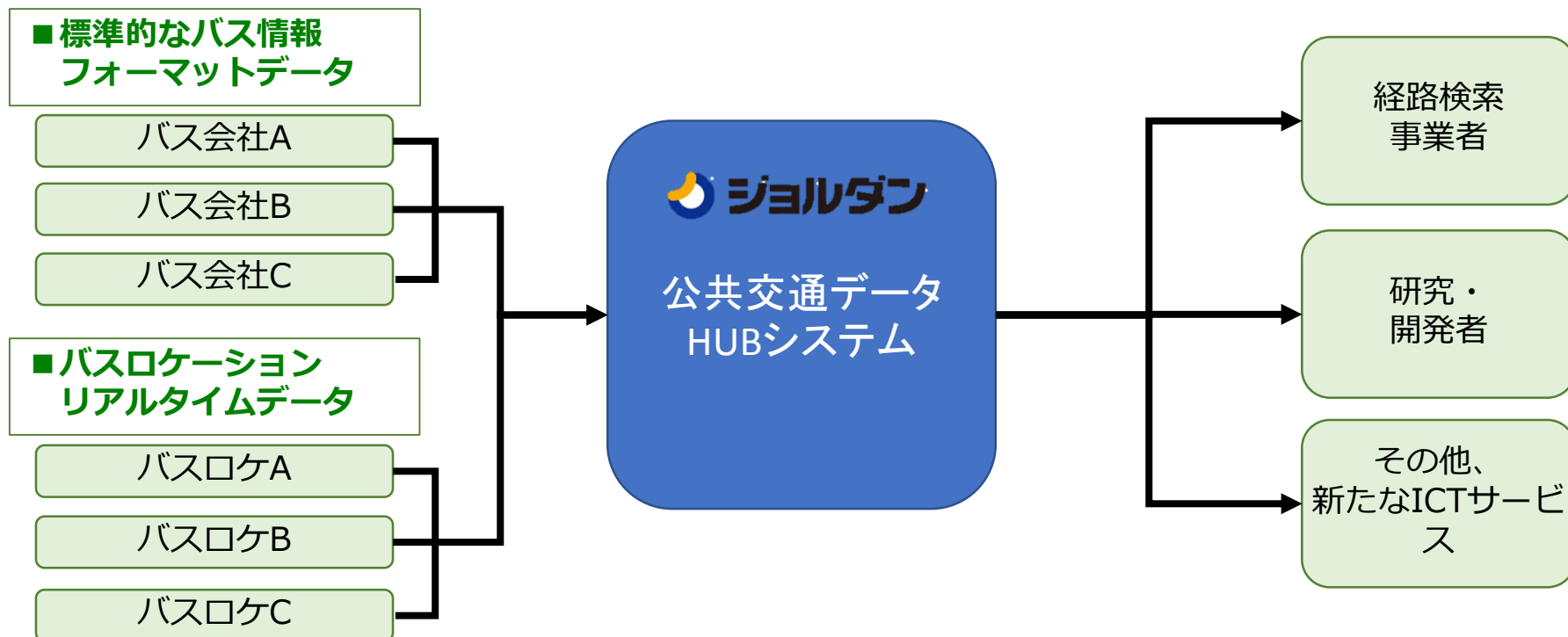
高速バス・リムジンバス 殆どすべて
路線バス 全国カバー率 90%



公共交通データHUBシステム

PUBLIC TRANSPORT DATA HUB SYSTEM

- 2018年11月正式稼働
- GTFS-JP、GTFS-Realtimeの情報を配信
- 全国に点在する公共交通データの「アグリゲータ」



関連するデータのあり方

鉄道・バスの静的データ

経路検索サービスにおいて最低限必要

時刻表・運賃
駅・バス停情報

移動をする際に利用することが広く認知されている経路検索を網羅的にかつ正確で信頼性の高いデータを扱えることが経路検索サービス事業者として差別化の要因でありました。しかし、MaaSの経路検索は移動サービスとしてより網羅性と信頼性を担保する必要。



鉄道・バスの動的データ

バスの走行位置情報
バス・電車の混雑情報

サービスの観点で、利用しやすく、快適になるための情報として必要。これにより、利用者が増加する方向に向かうのであれば、サービス事業者が誰でも活用できるようにすべきでないか。

公共交通の利用を増加する基盤のデータとして捉えるのであれば、データは利用しやすく、そして、信頼性を担保しなければならない。そのためのデータ整備には費用が掛かることは間違いありません。そのコストをどのように分担するのかを考えていければと思います。

